T活用NEWS

Information & Communication Technology

平成30年8月24日(金)発行 日野市教育委員会ICT活用教育推進室

<「インタラクティブスタディ」のポイント>

理解状態にあった補充問題を出す仕組みです。

ゲーム感覚であてずっぽうで回答したりすると

→学習者が自分で教材を選択して学習開始

(指導者がクラス単位であらかじめ教材を登録設定)

→学習者は設定された教材から学習開始

○システムが学習者の誤答を分析し、それぞれの

本年度、市内全校で実施される

メディアコーディネーター週間

実施報告(1学期) ~授業の一部をご紹介②~

「月に一度は『インタラクティブスタディ』をやる!と子供たちに約束しました」

豊田小学校 積極的に取り組んでいただき、どうもありがとうございました。

<u>『インタラクティブスタディ(ひとりでスタディ)』</u>
★3-3 (西山貴広先生) <算数:かけ算>

<授業の様子>

- ・先生は「スタディパスポート」を例に、これからの生活で 避けて通れないIDやパスワードについての注意点を話されました。
- 児童各自が先生の指示に従って教材を選び学習を始めました。
- ・各児童がよく考えずに答えを入力することがないよう、 計算やメモなどができる紙を配っていただきました。書いて 考える児童が見られました。

<成果>

- 児童は各自のペースで学習に取り組んでいました。
- ・「PCで勉強して楽しかった!」と保護者に報告した児童がたくさんいたとのこと、家庭訪問での様子を伺うことができました。

『インタラクティブスタディ(みんなでスタディ)』

★4-2 (西川実希先生) <算数:3年生の復習>

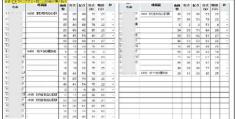
<授業の様子>

- ・児童は、スタディパスポートについての注意などの説明を教室で受けて来ました。
- 先生があらかじめ「みんなでスタディ」で教材を登録されていたので、

全員同じ教材「わり算(あまりあり)」から始め、その後、別の教材をやる児童も

いました。 <成果>

・「みんなでスタディ」の場合は、クラス単位で 各学習者の学習状況をリアルタイムに確認できます。 児童の学習状況をタブレットPCで見ながら、 机間指導していただきました。(右図)



効果が出ません。

O「ひとりでスタディ」

〇「みんなでスタディ」





『スタディノート(電子掲示板機能)』

★6-2(安齋美代子先生) <社会: 奈良時代の特ちょうをまとめよう> <授業の様子>

- ・奈良時代についてパワーポイントでまとめたものを3人が発表。 その後、各自が3人のパワーポイントを参考にしながら 奈良時代について「スタディノート」でまとめました。
- ・各自が自分のノートにまとめるのでは、友達がどのように まとめたかがわからず、友達のまとめを自分のまとめに 生かしにくいので、各自が「スタディノート」でまとめたものを 電子掲示板にあげ、互いに開いて見合いました。



『デイジーピクチャーキッズ2』

タッチペンや指で絵をかいたりタブレットPCの操作をしました。やり方にすぐ慣れた児童が多く、ソフトの機能を覚えながら、それぞれに工夫をしカレンダーを印刷して嬉しそうに帰っていきました。







保護者がとても喜ばれ、額に飾ってあるおうちもあるそうです!